

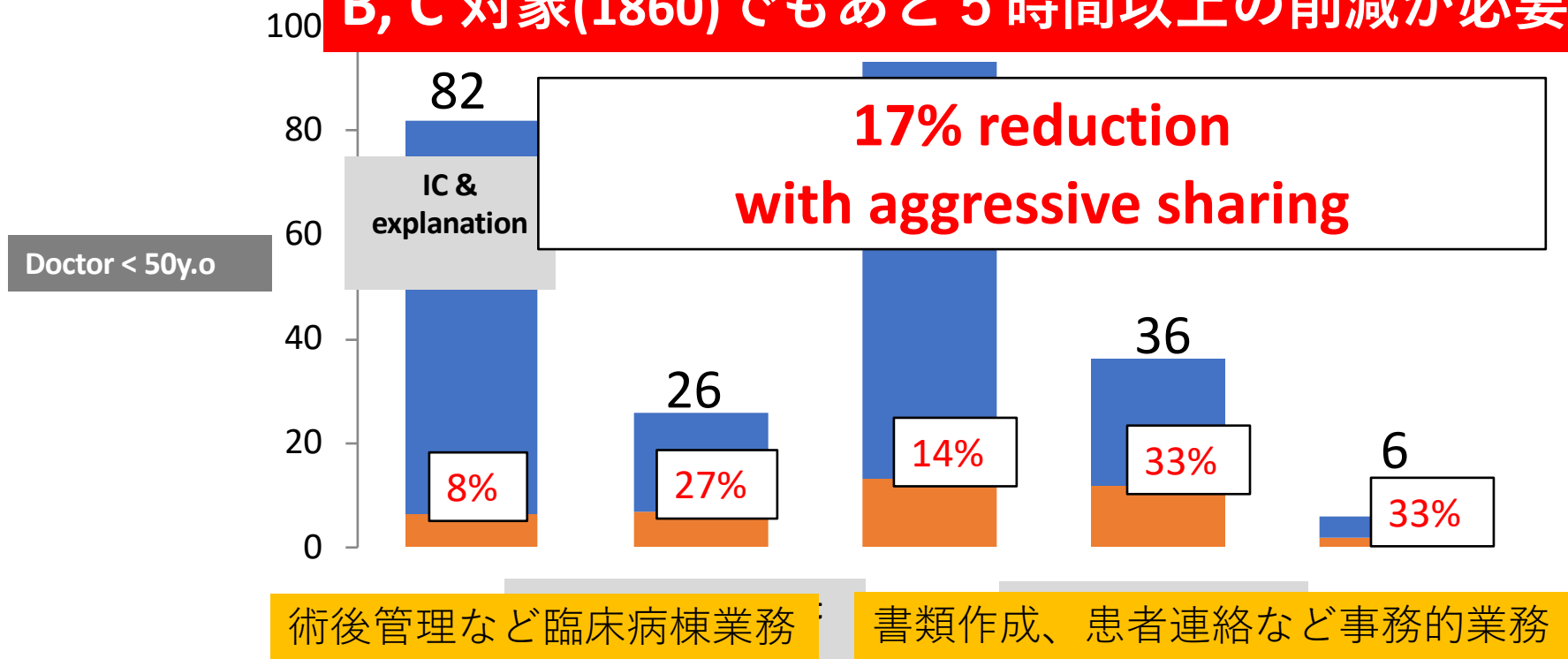
Effect on reducing doctor's work time

一般的に 週 60 時間の時間外

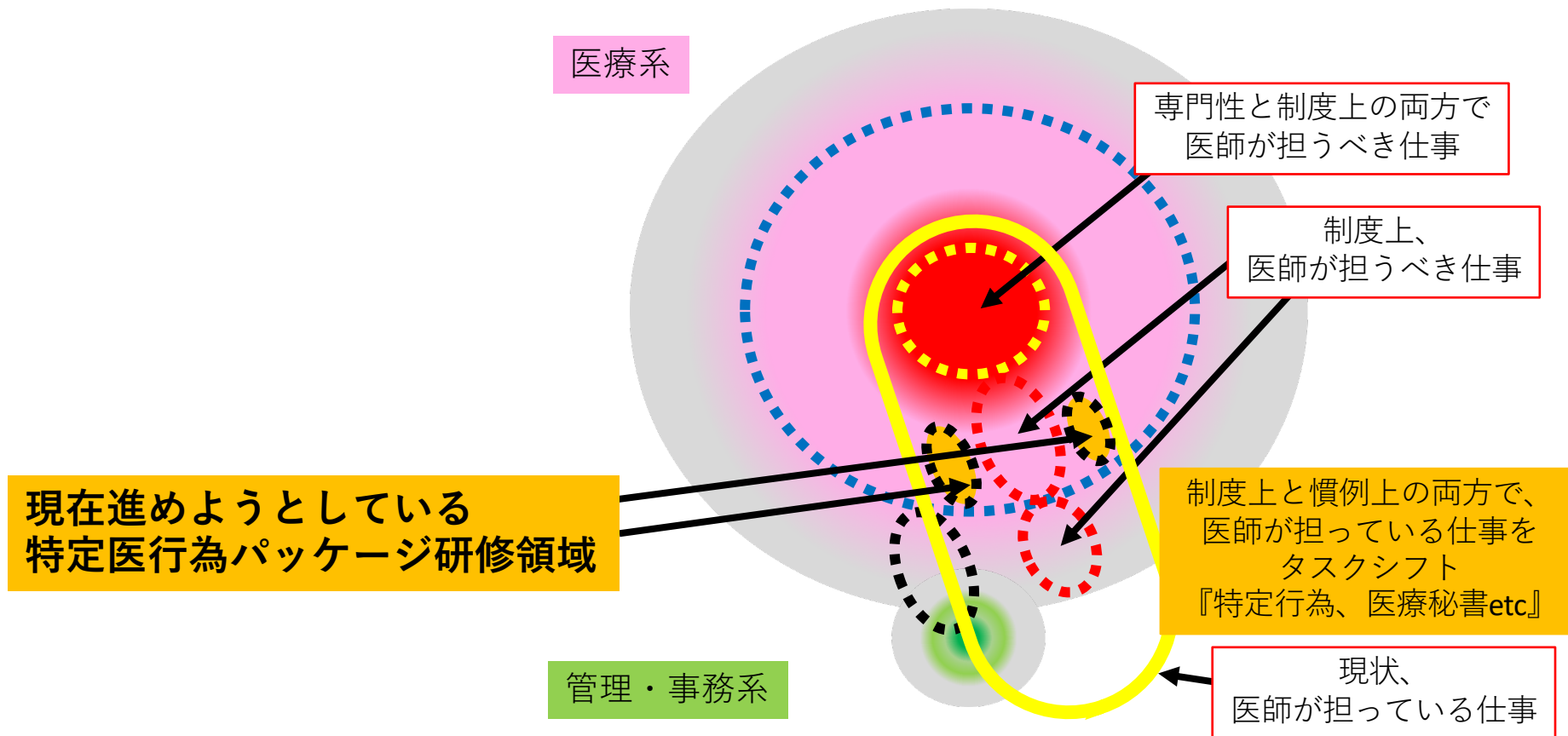
60 - 17 = 43 時間 . . .

with the, secretary.

B, C 対象(1860)でもあと 5 時間以上の削減が必要！



病院の仕事量



医師、特に心臓血管外科医の働き方：現状

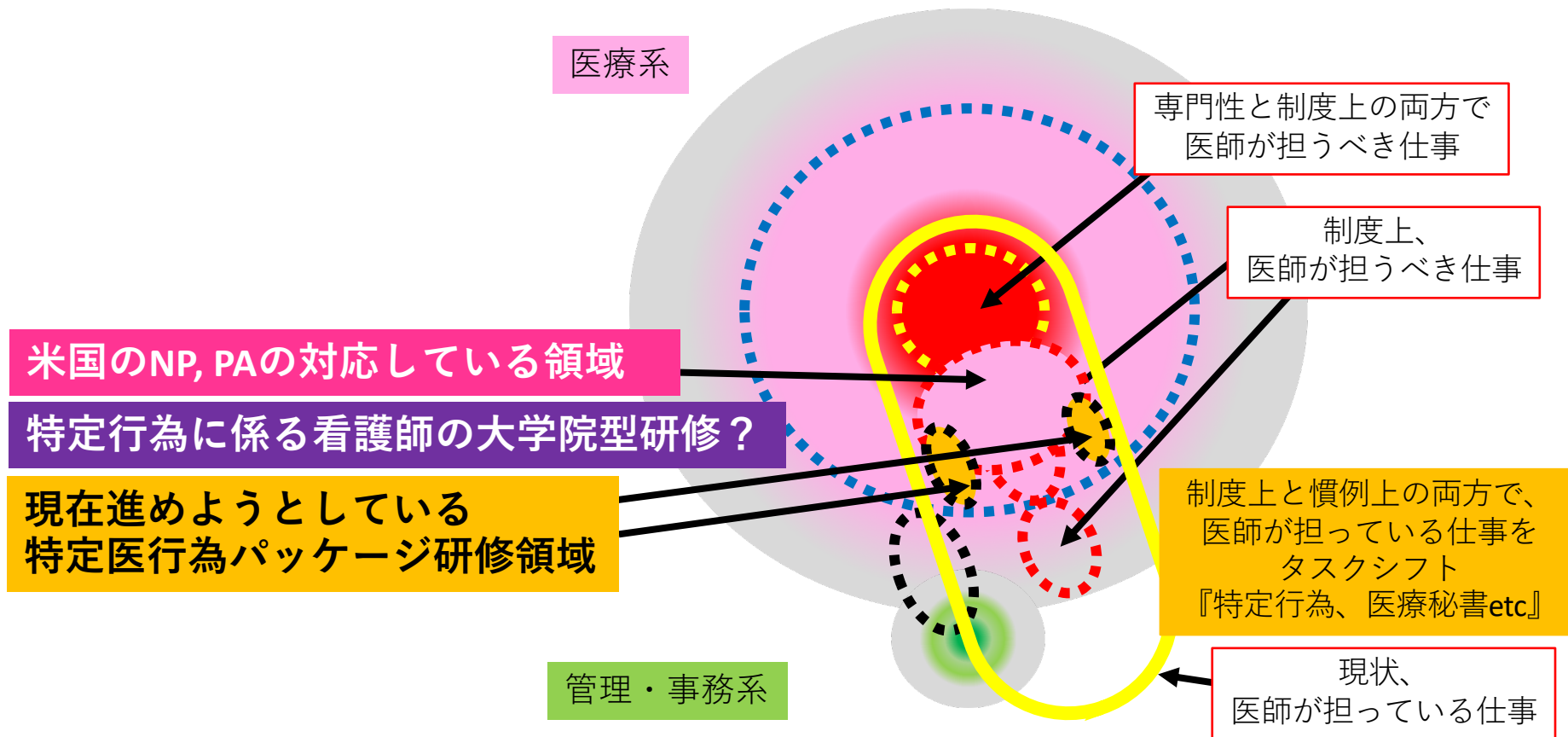
		Thoracic(Cardiovascular) surgeon			
		Doctor's number		Surgical volume (/year)	
		total	Per 100 thousand population	total	Per 1 surgeon
		4737	1.6	266,000	56.1
		5745	4.5	105,000	18.2

心臓大血管手術施行施設数;535施設
(2010年日本胸部外科学会学術調査)

(医師 : active , 週に20hrs以上働く)
(田林暁一ら)

米国の病院では、医師と看護師の中間職種である
NP(Nurse Practitioner), **PA**(Physician Assistant)が
医師一人 当たり 2-3人 付く

病院の仕事量



2024年4月とその後に向けた改革のイメージ②(案)

医療の質を落とさずに改革をするのが最も困難な領域

病院勤務医の働き方

時間外労働の年間時間数)

胸部外科領域では 約**30%**?
(心臓外科で1920時間以上が28.1%)

医師全体では
約**10%**

暫定特例水準を
外労働の医師は存
在してはならないこととなる

暫定特例水準対象についても、
時間外労働は毎週200時間以上

1860 業務効率改善によるタスクリダクションは勿論、
どのようなタスクシフト推進によるチーム医療によって
如何に・・・

960 患者が納得する医療の質の維持・向上を実現するのか？
如何に・・・

外科医ひとりひとりの質の維持・向上を可能にするのか？

当直をしない上級医師以外は 960時間では対応困難！！
1860時間でもギリギリ！？！

2024.4以降、年900時間を超え

本日の話

1. 『何故、働き方改革？』を整理する
2. 医療領域の三位一体改革
3. 医師、特に胸部外科医の働き方の現状
4. 特定医行為とタスク・シフト
5. 本日の企画：情報提供

『メインテーマ：医師の働き方改革・2024問題』 —副題：働き方改革落ちこぼれ施設ゼロを目指して—

- 2024問題対応“**特定行為に係る看護師の2019年創設・新パッケージ研修**”の最前線
馬場 秀夫 先生（外科学会・外科医労働環境改善委員長）
- **2024問題を検討する最新情報**の提供
加藤 琢磨 先生（厚労省）
- “2012年創設・特定行為に係る**看護師の大学院型研修**”の最前線
高木 靖 先生（藤田医科大学）
- **何故、いま“2020年創設・大学院型研修”**の制度確立を目指すのか
安藤 秀明 先生（秋田大学）
- **2024問題を病院経営の視点**で切る
森田 茂樹 先生（国立病院機構 九州医療センター）

総合討論

本日は何卒よろしくお願いいたします